



平成22年度 京都大学防災研究所 研究発表講演会 プログラム

開催日：平成23年2月22日(火)～23日(水)

入場無料

場 所：京都大学宇治キャンパス（宇治市五ヶ庄）

JR 奈良線黄檗駅から徒歩約5分 京阪宇治線黄檗駅から徒歩約6分

○平成23年2月22日(火)

所長挨拶	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：30～9：35
ハイライト研究	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：35～10：55
災害調査報告	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	11：10～12：30
ゲスト講演	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	14：00～15：00
一般講演		15：30～18：30
ポスターセッション		9：30～18：30

○平成23年2月23日(水)

一般講演		9：00～12：00
ポスターセッション・コアタイム		12：00～14：00
一般講演		14：00～17：15
ポスターセッション		9：00～15：00
懇親会（会場：宇治生協会館）		18：00～20：00

一般講演会場

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ)
22日(火) 15:30～18:30	地震・火山 (I)	大気・水 (I)	GCOE-ARS	地盤 (I)	GCOE-HSE	ポスター セッション (時間は上記)
23日(水) 9:00～12:00	地震・火山 (II)	大気・水 (II)	大気・水 (III)	地盤 (II)	GCOE-HSE 総合防災(I)	
23日(水) 14:00～17:15	地震・火山 (III)	大気・水 (IV)	大気・水 (V)	地盤 (III)	総合防災(II)	

- A会場……きはだホール（宇治おうばくプラザ）
 B会場……セミナー室1+2（宇治おうばくプラザ）
 C会場……セミナー室4+5（宇治おうばくプラザ）
 D会場……特別会議室E-320D（防災研究所本館）
 E会場……大会議室D-1518（防災研究所本館）

※詳しい会場案内図は21ページをご参考ください。

平成 23 年 2 月 22 日 (火)
〈宇治おうばくプラザ きはだホール〉

昼食

9:30 所長挨拶

所長 岡田憲夫

ゲスト講演 14:00～15:00

14:00 ゲスト講演

「環境問題の未来を考える」

京都大学こころの未来研究センター

教授 BECKER, Carl Bradley

ハイライト研究 9:35～10:55

9:35

「インターネットを介した並列実験の実現とネットワーク型耐震構造実験の試行」

教授 中島正愛

10:15

「次世代型地震観測システムの開発と運用
-満点を目指して-

教授 飯尾能久

休憩

災害調査報告 11:10～12:30

11:10

「2009 年台風モラコットによる台湾の深層崩壊災害」

教授 千木良雅弘

11:30

「2010 年チリ・マウレ地震被害調査報告」

助教 飛田哲男

11:50

「ミャンマーにおける高潮災害について」

教授 平石哲也

12:10

「アイスランド火山噴火と航空関連の大混乱」

教授 安田成夫

A 会場 一般講演 地震・火山（I） 平成 23 年 2 月 22 日（火） 15:30 ~ 18:00		A 会場 22 日 午後
<p>15:30 A01 拡散場理論による地震動の水平・上下比の新解釈 ○ Hiroshi KAWASE · Ariane DUCCELLIER · Shinichi MATSUSHIMA · Francisco J. SANCHEZ-SESMA</p> <p>15:45 A02 上町断層帯における重点的な調査観測について ○ 岩田知孝 (上町断層帯重点調査観測研究グループ)</p> <p>16:00 A03 カトマンズの歴史的組積造建造物の耐震性評価について ○ 清野純史 · ハリ ラム パラジューリ · 辰巳雅俊 · 谷口仁士 · 土岐憲三 · 古川愛子</p> <p>16:15 A04 強震記録を用いた茨城県沖で発生する海溝型繰り返し地震の震源過程の推定と比較 ○ 瀧口正治 · 浅野公之 · 岩田知孝</p> <p>16:30 A05 ハイレート GPS でみた 2010 年バハカリフォルニア地震の変動 ○ 中村悠希 · 橋本 学</p>	<p>17:00 A06 地震波干渉法によるグリーン関数を用いた西日本の地殻速度構造モデルの検証 ○ 浅野公之 · 岩城麻子 · 岩田知孝</p> <p>17:15 A07 雑微動の相互相関関数による西南日本の地殻下反射面の検出 ○ 大見士朗 · 平原和朗</p> <p>17:30 A08 The Distribution of Mainshock-Foreshock Magnitude Differences: Uniform, Exponential or Something Else? ○ Christine W. SMYTH · Jim MORI · Masumi YAMADA</p> <p>17:45 A09 地震波形による 2010 年 8 月 7 日火球の軌道推定 ○ 山田真澄 · Jim MORI</p>	B 会場
		C 会場
		D 会場
		E 会場
休憩		ポ ス タ ー

<p>A 会場 23 日 午前</p>	<p style="text-align: center;">A 会場 一般講演 地震・火山（Ⅱ） 平成 23 年 2 月 23 日（水） 9:00 ~ 11:45</p>	<p>10:30 A15 鉛直動を受ける免震建物における内部設置機器の応答 ○古川 幸・佐藤栄治・中島正愛</p>
<p>B 会場</p>	<p>9:00 A10 SFRCC と鋼製スタッドによる合成構造接合形式に関する実験的検討 ○保木和明・羅 雲標・宋 書海・崔 瑤・中島正愛</p>	<p>10:45 A16 Flexural Performance of Built-up Weld-Free Columns Using Ultra-High-Strength Steel ○ Xuchuan LIN・Yulin CHUNG・Taichiro OKAZAKI・Masayoshi NAKASHIMA</p>
<p>C 会場</p>	<p>9:15 A11 Numerical Study on Composite Structural Connection with Steel Studs Embedded in SFRCC Slab ○ Yunbiao LUO・Kazuaki HOKI・Shuhai SONG・Yao CUI・Masayoshi NAKASHIMA</p>	<p>11:00 A17 Incremental Dynamic Analysis Applied to Collapse Margin Assessment of High-Rise Buildings ○ Yu-Lin CHUNG・Dimitrios G. LIGNOS・Masayoshi NAKASHIMA</p>
<p>D 会場</p>	<p>9:30 A12 黒鉛による鋼とモルタルの摩擦係数低減とその動摩擦特性の検証 ○榎田竜太・稲美充顕・保木和明・山崎友也・池永昌容・長江拓也・中島正愛</p>	<p>11:15 A18 上部構造が非線形化する構造-杭基礎-地盤システム振動台実験 ○高橋良和・西村俊亮・室野剛隆・西村隆義・江尻讓嗣・田中浩一・樋口俊一</p>
<p>E 会場</p>	<p>9:45 A13 Application of Motion Captures for the Measurement of Furniture Behavior in Shaking Table Tests ○ Yundong SHI・Eiji SATO・Sachi FURUKAWA・Masayoshi NAKASHIMA</p>	<p>11:30 A19 鉛直ダンパーと UPSS 支承の組み合わせによる桁橋の地震応答制御 ○五十嵐晃・白石晴子・足立幸郎・宇野裕恵・加藤祥久・佐藤知明</p>
<p>ポ ス タ ー</p>	<p style="text-align: center;">休憩</p>	

A 会場 一般講演 地震・火山（Ⅲ） 平成 23 年 2 月 23 日（水） 14：00～17：00			A 会場 23 日 午後
14:00 A20 地球物理逆問題のデータ同化理論 徐 培亮	15:45 A26 データベースを用いた満点計画管理システム 澤田麻沙代・三浦 勉・○米田 格・ 飯尾能久		B 会場
14:15 A21 ABIC を用いたインバージョン解析：先験的拘束条件がフルランクでない場合の取り扱い 深畑幸俊	16:00 A27 火山噴火の長期予測－インドネシア・ケルート火山の場合 ○石原和弘・SURONO・ Muhamad HENDRASTO・Sri HIDAYATI		
14:30 A22 InSAR 時系列解析によるキラウエア火山の変動 福島洋	16:15 A28 始良カルデラ周辺の地震波速度構造 ○為栗 健・井口正人・園田忠臣・ 寺石眞弘・大倉敬宏・小松信太郎・ 山崎健一		C 会場
14:45 A23 紀伊半島と南九州下に沈み込むフィリピン海プレートのイメージング ○澁谷拓郎・平原和朗・大倉敬宏・ 寺石眞弘・山崎健一・安部祐希・ 中川陽一郎・福居大志・大谷真紀子・ 中尾節郎・西村和浩・澤田麻沙代・ 小松信太郎	16:30 A29 2010 年桜島火山の活動を考える ○井口正人・太田雄策・為栗 健・ 植木真人・園田忠臣・高山鉄朗・ 市川信夫		D 会場
15:00 A24 山崎断層帯の深部構造と地震発生特性の調査研究（3） ○西上欽也・澁谷拓郎・片尾 浩・ 山口 覚・儘田 豊	16:45 A30 Learn from 2010 Eruptions at Merapi and Sinabung Volcanoes in Indonesia Masato IGUCHI・Kazuhiro ISHIHARA・ SURONO・○Muhamad HENDRASTO		
15:15 A25 山崎断層系の比抵抗構造（1） －AMT探査の結果から－ ○山口 覚・上田哲士・村上英記・ 加藤茂弘・大志万直人・西上欽也・ 鎌滝孝信・儘田 豊			E 会場
休憩			ポ ス タ ー

A 会場	<p style="text-align: center;">B 会場 一般講演 大気・水 (I) 平成 23 年 2 月 22 日 (火) 15:30 ~ 18:15</p>	<p>17:15 B07 降雨予測誤差を考慮した雨水貯留施設の制御戦略に関する研究 ○鳥井宏之・城戸由能・中北英一</p>
B 会場	<p>15:30 B01 ISO 試験法に基づく板ガラスの耐衝撃破壊特性 ○丸山 敬・河井宏允・西村宏昭・加茂正人・前田 豊</p>	<p>17:30 B08 台風 Francisco (T0118) の初期渦形成過程 ○吉田龍二・石川裕彦</p>
22 日 午後	<p>15:45 B02 一様流中における立方体後流の流れ場の構造 ○河井宏允・奥田泰雄・大橋征幹</p>	<p>17:45 B09 夏季北西太平洋域の対流活動が中高緯度大気循環の予測に及ぼす影響について ○田中智之・向川 均</p>
C 会場	<p>16:00 B03 層積雲の形成／崩壊の数値実験 ○三浦知博・石川裕彦</p>	<p>18:00 B10 成層圏突然昇温と北半球環状モードの予測可能性 ○向川 均・長田 翔・黒田友二</p>
D 会場	<p>16:15 B04 関東平野において夏期の午後に発生する局地降水の発生環境場に関する研究 ○野村昇平・竹見哲也</p>	
	<p>16:30 B05 X バンド MP レーダーを用いたゲリラ豪雨の早期探知と追跡 中北英一・○山邊洋之・山口弘誠</p>	
E 会場	<p>休憩</p>	
ポ ス タ ー	<p>17:00 B06 京都盆地における準三次元地下水汚染シミュレーション解析 ○バトルアブドレイム・城戸由能・栗津進吾・中北英一</p>	

B会場 一般講演 大気・水 (II) 平成 23 年 2 月 23 日 (水) 9 : 00 ~ 12 : 00			
<p>9:00 B11 近年における地表面 CO₂ フラックス 年々変動の逆転法による研究 井口敬雄</p> <p>9:15 B12 境界層・雲微物理過程のモデル化に 対する局地豪雨の感度実験 竹見哲也</p> <p>9:30 B13 水蒸気量の鉛直分布のデータ同化に よる降水予測精度へのインパクト評価 ○山口弘誠・中北英一・古本淳一</p> <p>9:45 B14 全球 20km 格子大気モデルによる土 砂災害関連指標降雨の将来変化 ○奥勇一郎・中北英一</p> <p>10:00 B15 Spatio-temporal Change of Extreme Drought Severity Due to Climate Change: Change of Standard Precipitation Index(SPI) ○Kyoungjun KIM・Eiichi NAKAKITA・ Toshiya MIYAKE・Yuichiro OKU</p>	<p>10:45 B17 NDVI 時系列解析による全球 1 kmメッ シュ作物分類図の作成 ○北宅 洋・田中賢治・小尻利治・ 浜口俊雄</p> <p>11:00 B18 衛星データ解析による農事暦を活用し た灌漑必要水量の推定 ○小槻峻司・田中賢治・小尻利治・ 浜口俊雄</p> <p>11:15 B19 Eco-friendly Design of Stilling Basins Geometry for Flood Mitigation Dams ○Sameh A. KANTOUSH・ Mohammad Meshkati SHAHMIRZADI・ Tetsuya SUMI</p> <p>11:30 B20 Relation of Hydrogeomorphology of Gravel Bar to Particulate Organic Matter Dynamics in Braided Alpine River ○Giyoung OCK・Yasuhiro TAKEMON</p> <p>11:45 B21 土砂供給に伴うアユ産卵環境の変化 予測に関する研究 ○鈴木崇正・角 哲也・竹門康弘・ 中島佳奈</p>	<p>A 会場</p> <p>B 会場</p> <p>23 日 午前</p> <p>C 会場</p> <p>D 会場</p> <p>E 会場</p>	<p>ポ ス タ ー</p>
休憩			
<p>10:30 B16 アラル海の縮小や集水域の灌漑地拡 大の影響を考慮した水・熱収支の経 年変化の再現 ○峠 嘉哉・田中賢治・小尻利治・ 浜口俊雄</p>			

A 会場	<p style="text-align: center;">B 会場 一般講演 大気・水 (IV) 平成 23 年 2 月 23 日 (水) 14:00 ~ 17:15</p>	<p>15:45 B28 長期貯水池操作のための多様な全球 気象情報の利用可能性 ○野原大督・三木博子・堀 智晴</p>
B 会場 23 日 午後	<p>14:00 B22 2010 年 8 月の京都における集中豪雨 の解析 ○辰己賢一・竹見哲也・堀口光章・ 石川裕彦</p>	<p>16:00 B29 マルチ気候モデルと貯水池操作を考 慮した分布型流出モデルの本曾三川 流域への適用 ○佐藤嘉展・小尻利治・道広有理・ 鈴木 靖</p>
C 会場	<p>14:15 B23 X バンド偏波レーダーによる雨滴粒径 分布の時空間構造の推定と非偏波 レーダーへの利用 ○中北英一・金原知穂・山口弘誠</p>	<p>16:15 B30 分布型流出モデルと統合化可能な内・ 外水氾濫マクロモデルの開発 ○浜口俊雄・小尻利治</p>
D 会場	<p>14:30 B24 全球静止気象衛星データセットの構築 ○樋口篤志・山本宗尚・竹中栄晶・ 早崎将光・久世宏明・斎藤尚子</p>	<p>16:30 B31 アユの産卵に適した河床形態に関す る研究 ○角 哲也・中島佳奈・竹門康弘・ 鈴木崇正</p>
E 会場	<p>14:45 B25 衛星情報を用いた地表面水文量の時 系列分析 ○萬 和明・児玉隆敏・Sunmin KIM・ 立川康人・椎葉充晴</p>	<p>16:45 B32 木津川のたまりにおける魚類等の生息 場評価に関する研究 ○竹門康弘・寺田匡徳・角 哲也</p>
ポ ス タ ー	<p>15:00 B26 超高解像度 GCM を用いた気候変動 の日本の水資源への影響評価 ○田中賢治・小尻利治・中北英一</p> <p>15:15 B27 気候変動情報データベースの構築と その活用手法 ○道広有理・佐藤嘉展・鈴木 靖</p>	<p>17:00 B33 風波飽和度の概念に基づく海面抵抗 係数測定データの再評価 ○鈴木 靖・鳥羽良明</p>
	<p>休憩</p>	

C 会場 一般講演 GCOE-ARS 平成 23 年 2 月 22 日 (火) 15:30 ~ 17:30		
<p>15:30 C01 2010 年のアジア・アフリカの気象災害 石川裕彦</p> <p>15:45 C02 A Hindcast Experiment on Heavy Rainfall at Jakarta in January-February 2007 Joko TRILAKSONO・Shigenori OTSUKA・ ○ Shigeo YODEN</p> <p>16:00 C03 ガンビア共和国における洪水災害につ いて 寶 馨</p> <p>16:15 C04 水文モデルの三次元化とクロアチアに おける応用について 山敷庸亮</p> <p>16:30 C05 Statistical Analysis of Present and Future River Water Temperature in Hokkaido Using Downscaled GCMs Data ○ Bin HE・Kaoru TAKARA・ Yosuke YAMASHIKI・ Kenichiro KOBAYASHI・Pingping LUO</p>	<p>17:00 C06 淀川流域の分布型降雨流出・氾濫 追跡モデルの開発と洪水保険への応 用利用 ○小林健一郎・寶 馨・佐野 肇・ 津守博通・関井勝善・松本 拓</p> <p>17:15 C07 Impact of Climate Change on Glacial Lake and Numerical Approach to Predict Glacial Lake Outburst Flood ○ Badri Bhakta SHRESTHA・ Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・ Yasuyuki BABA・Hao ZHANG</p>	<p>A 会場</p> <hr/> <p>B 会場</p> <hr/> <p>C 会場 22 日 午後</p> <hr/> <p>D 会場</p> <hr/> <p>E 会場</p> <hr/> <p>ポ ス タ ー</p>
休憩		

A 会場	<p>C 会場 一般講演 大気・水 (Ⅲ) 平成 23 年 2 月 23 日 (水) 9 : 00 ~ 12 : 00</p>	<p>10:45 C14 Three Dimensional Analysis of Rainfall Induced Slope Failure ○ Ram Krishna REGMI · Hajime NAKAGAWA · Kenji KAWAIKE · Yasuyuki BABA · Hao ZHANG</p>
B 会場	<p>9:00 C08 2010 年 10 月のインドシナ半島東岸の 豪雨について ○隈部康晴・石川裕彦・林 泰一</p>	<p>11:00 C15 重合格子法を用いた流体-構造体連 成モデルによるフラップゲートの波浪お よび津波応答解析 ○木村雄一郎・柳 浩敏・森 信人・ 安田誠宏・間瀬 肇</p>
C 会場 23 日 午前	<p>9:15 C09 漏洩同軸ケーブルによる豪雨検知のた めの人工降雨実験 ○水谷 司・藤野陽三・猪又憲治・ 辻田 亘・長山智則・西川貴史・鹿井正博・ 鷺見和彦</p>	<p>11:15 C16 高潮計算に及ぼす格子解像度の影響 ○林 祐太・間瀬 肇・森 信人・ 安田誠宏・中條壮大</p>
D 会場	<p>9:30 C10 固定床上を流れる流砂の伝播特性 ○久加朋子・竹林洋史・藤田正治</p>	<p>11:30 C17 日本の沿岸外力に及ぼす気圧変動の 影響 ○志村智也・森 信人・中條壮大・ 安田誠宏・間瀬 肇</p>
E 会場	<p>9:45 C11 風化基岩の凍結融解時における熱移 動と水分移動の同時解析 ○泉山寛明・堤 大三・藤田正治</p>	<p>11:45 C18 全球確率台風モデルの開発と温暖化 影響評価への応用 ○中條壮大・森 信人・安田誠宏・ 間瀬 肇</p>
ポ ス タ ー	<p>休憩</p>	
	<p>10:00 C12 水制周辺の河床変化および砂の分級 現象 ○水谷英朗・中川 一・川池健司・ 馬場康之・張 浩・住友秀成</p>	
	<p>10:30 C13 Study on Piping Failure of Natural Dam ○ Ripendra AWAL · Hajime NAKAGAWA · Masaharu FUJITA · Kenji KAWAIKE · Yasuyuki BABA · Hao ZHANG</p>	

C 会場 一般講演 大気・水 (V) 平成 23 年 2 月 23 日 (水) 14:00 ~ 17:15			
14:00 C19 水深積分モデルによる管路内砂堆の発生・発達過程の数値解析 ○細田 尚・木村敏章・Langhi M.K.	15:45 C25 砂州と流路の形状特性に及ぼすヒステリシスの影響 ○竹林洋史・藤田正治・上戸亮典	A 会場	
14:15 C20 植生群を有する開水路流れの詳細平面2次元解析と空間平均解析の比較 柴山慶行・○音田慎一郎・細田 尚	16:00 C26 海岸砂丘域における地下水動態観測 ○東 良慶・中野壮一朗・平石哲也	B 会場	
14:30 C21 内水氾濫解析モデルにおける地上-下水道連結モデルの実験的検証 ○川池健司・清水 篤・馬場康之・中川 一	16:15 C27 フラップゲート式防波堤の挙動予測に関する三次元数値解析 ○米山 望・中島健輔・永島弘士	C 会場	23 日 午後
14:45 C22 Application of 2D-3D Numerical Coupling Model to Inundation Flow Analysis in Urban Area ○ Dongkeun LEE・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Yasuyuki BABA・Hao ZHANG	16:30 C28 防波堤の安定化を図ったカウンターウェイト・ブロックの模型実験 間瀬 肇・○平石哲也・安田誠宏・川田達也・行本卓生・徳永誠之・松下紘史	D 会場	
15:00 C23 土砂災害の軽減策と連携した土砂資源管理に関する研究 ○藤田正治・Jazaul IKHSAN・竹林洋史	16:45 C29 洋上浮体式ウィンドファームサイトにおける風と波の解析 ○間瀬 肇・森 信人・紺野晶裕・中條壮大・安田誠宏	E 会場	
15:15 C24 2010年の土砂災害にみる近年の降雨傾向の影響 ○宮田秀介・藤田正治・竹林洋史・堤 大三	17:00 C30 地球温暖化に伴う沿岸外力の将来変化予測 ○森 信人・中條壮大・志村智也・間瀬 肇・安田誠宏		ポ ス タ ー
休憩			

A 会場	<p style="text-align: center;">D 会場 一般講演 地盤 (I) 平成 23 年 2 月 22 日 (火) 15 : 30 ~ 18 : 15</p>	<p>17:30 D08 Formation and Evolution of Chaancun Landslides of Dalian City in China ○ Yan XU · Lei NIE · Gonghui WANG · Toshitaka KAMAI</p>
B 会場	<p>15:30 D01 地すべり地における地震の観測例 ○末峯 章・加納靖之・王 功輝</p>	<p>17:45 D09 Liquefaction Behavior of Saturated Fiber-Reinforced Sand in Undrained Ring-shear Tests ○ Jin LIU · Gonghui WANG · Toshitaka KAMAI · Fanyu ZHANG · Bin SHI</p>
C 会場	<p>16:00 D03 山地の地盤災害研究における宇宙線 生成核種の応用 ○松四雄騎・千木良雅弘・松崎浩之</p>	<p>18:00 D10 Tertiary Creep of Pore Water Pressure Increase Test in Ring Shear Apparatus ○ Atitkagna DOK · 福岡 浩</p>
D 会場 22日 午後	<p>16:15 D04 豪雨誘因の斜面崩壊発生位置の定 量的診断予測法 齊藤隆志</p> <p>16:30 D05 Distribution of Geomorphic Features in Shihmen Reservoir Watershed, Taiwan ○ Ching-Ying TSOU · Masahiro CHIGIRA</p>	
E 会場	<p>休憩</p>	
ポ ス タ ー	<p>17:00 D06 せん断応力を載荷された不飽和砂質 土の吸水に伴うせん断変形 笹原克夫</p>	
	<p>17:15 D07 Water Migration on the Shear Zone of Loess in Large Shear Displacement ○ Fanyu ZHANG · Gonghui WANG · Toshitaka KAMAI</p>	

A 会場	<p style="text-align: center;">D 会場 一般講演 地盤 (Ⅲ) 平成 23 年 2 月 23 日 (水) 14:00 ~ 16:30</p>	<p>15:45 D25 三軸せん断-保持-せん断試験における堆積岩の強度回復現象 ○岸田 潔・荒木壯則・ Derek ELSWORTH・矢野隆夫・安原英明・ 中島伸一郎</p>
B 会場	<p>14:00 D19 琵琶湖湖岸地すべりによる歴史上の ウォーターフロント災害 ○釜井俊孝・林 博道・原口 強</p>	<p>16:00 D26 廃棄物処分場における微生物分解が 廃棄物層の強度・変形特性に及ぼす 影響 Nguyen Chau LAN・○乾 徹・勝見 武・ 高井敦史</p>
C 会場	<p>14:15 D20 Fast Shear Behavior of Granular Materials in Ring Shear Tests ○Mauri MCSAVENEY・Gonghui WANG・ Tim DAVIES</p>	<p>16:15 D27 歴史的地盤構造物の保全と整備に向 けた工学的アプローチ ○三村 衛・吉村 貢</p>
D 会場 23日 午後	<p>14:30 D21 物理探査による天然ダム堤体の内部 構造探査およびダム堤体の安定性 ○王 功輝・釜井俊孝・黄 潤秋・ 古谷 元・張 帆宇</p>	
	<p>14:45 D22 土砂災害危険度評価に積算暖度法 を用いた場合の適用性について 松浦純生</p>	
E 会場	<p>15:00 D23 自然電位法による降雨による斜面崩壊 過程把握の試み ○服部克巳・矢部修平・大坪 大・ 高野 瞳・東條康成・寺嶋智巳・岡田康彦・ 落合博貴</p>	
ポ ス タ ー	<p>15:15 D24 自然由来の重金属を含有する掘削岩 石の溶出特性 弘田実俊・片山真理子・○勝見 武・ 乾 徹・高井敦史</p>	
	休憩	

E 会場 一般講演 GCOE-HSE 平成 23 年 2 月 22 日 (火) 15:30~18:30			A 会場
15:30 E01 Assessment of Overall Economic Impact of a Disaster to Industry Considering Recovery Process: A Computable General Equilibrium Approach ○ Kazuyoshi NAKANO · Yoshio KAJITANI · Hirokazu TATANO	17:00 E06 Interactive Behavior of the Pleistocene Reclaimed Foundations due to Construction of the adjacent Airport Island ○ Byunggon JEON · Mamoru MIMURA		B 会場
15:45 E02 Flood Risk Management Scheme and Risk Communication in Korea ○ Junho CHOI · Hirokazu TATANO	17:15 E07 Assessment of a Multi-span Reinforced Concrete Bridge in the Low Seismicity Area under Strong Seismic Induced Load ○ Sherliza ZAINI SOORIA · Yoshikazu TAKAHASHI		
16:00 E03 Implementation of the Yonmenkaigi System Method for Capacity Building on Disaster Risk Management in Local Community of Merapi Volcano ○ Jong-il NA · Norio OKADA	17:30 E08 Development of Glacial Lake Outburst Floods Prevention Method ○ Tsutao OIZUMI · Yousuke YAMASHIKI · Kaoru TAKARA		C 会場
16:15 E04 Participatory Risk Mapping for Identifying Spatial Risks in Flood Prone Slum Areas, Mumbai ○ Subhajyoti SAMADDAR · Bijay Anand MISRA · Roshni CHATTERJEE · Hirokazu TATANO	17:45 E09 A Study on Mechanism of Limestone Debris Flow and its Flow Characteristics ○ Mohd Remy Rozainy M.A.Z · Yosuke YAMASHIKI · Kaoru TAKARA · Taku MATSUMOTO		D 会場
16:30 E05 Intelligent GIS for Distributed Cooperation of Earthquake Emergency Response Operations ○ Reza NOURJOU · Michinori HATAYAMA	18:00 E10 Using River Channel Historical Map to Study Paleo-Hydrology in Yodo River Basin ○ Pingping LUO · Kaoru TAKARA · Bin HE · Kenichiro KOBAYASHI		E 会場 22 午後
休憩	18:15 E11 Numerical Analysis of Flooding Impacts Using Hydro-BEAM in Red River Basin, Vietnam ○ Mukta SAPKOTA · Toshio HAMAGUCHI · Toshiharu KOJIRI		ポ ス タ ー

A 会場	<p style="text-align: center;">E 会場 一般講演 GCOE-HSE 総合防災 (I) 平成 23 年 2 月 23 日 (水) 9 : 00 ~ 12 : 00</p>	<p>10:30 E17 災害対応における状況認識の統一を 目指した情報様式の整備 ○田口尋子・林 春男</p>
B 会場	<p>9:00 E12 An Observation on the Relationship Between IOD/ENSO and River Discharges of the Citarum Basin, Indonesia ○ Netrananda SAHU・ Yosuke YAMASHIKI・Kaoru TAKARA</p>	<p>10:45 E18 2007 年新潟県中越沖地震の強震動 シミュレーション ○新田祐平・松島信一・川瀬 博</p>
C 会場	<p>9:15 E13 Evaluation of Possible Flood - Sediment Scenarios for Rjecina River Catchment in Association with Grohovo Landslide ○ Maja OSTRIC・Yosuke YAMASHIKI・ Kaoru TAKARA・Tamotsu TAKAHASHI</p>	<p>11:00 E19 微動観測による建設中の免震建物の 振動特性評価 ○長嶋史明・前野敏元・松島信一・ 川瀬 博</p>
D 会場	<p>9:30 E14 Analysis of Future Extreme Precipitation using 20 km GCM in Asian Monsoon Countries ○ Lisako KONOSHIMA・ Eiichi NAKAKITA</p>	<p>11:15 E20 微動の水平上下スペクトル比の方位 依存性と地盤構造の不均質性 ○廣川貴則・ Francisco J. SA'NCHEZ-SESMA・ 松島信一・川瀬 博</p>
E 会場	<p>休憩</p>	<p>11:30 E21 統計的グリーン関数法による想定東南 海地震の広帯域強震動予測とそれ による建物被害予測 ○宝 音図・川瀬 博・松島信一</p>
23 日 午前	<p>10:00 E15 平成 21 年の大雨対応を踏まえた自治 体の教訓・課題 -内閣府調査の自由回答の分析- ○佐藤翔輔・林 春男・田村圭子</p>	<p>11:45 E22 Adapting the Earthquake beneath Tokyo Metropolitan Based on a Demographic Analysis of Future Demographic Transition ○ Haili CHEN・Norio MAKI・ Haruo HAYASHI</p>
ポ ス タ ー	<p>10:15 E16 首都圏大規模水害を想定した住民避 難計画に関する研究 ○湯川誠太郎・畑山満則・多々納裕一</p>	

E 会場 一般講演 総合防災（Ⅱ） 平成 23 年 2 月 23 日（水） 14：00～16：45		A 会場
<p>14:00 E23 首都直下地震後の住宅再建 -首都圏域における総合的検討- ○牧 紀男・陳 海立</p> <p>14:15 E24 国際海峡閉鎖の経済的影響評価に 関する基礎検討 ○梶谷義雄・中野一慶・多々納裕一・ 崔 俊浩・安田成夫</p> <p>14:30 E25 国際重要インフラの災害リスクガバナ ンス政策について ○多々納裕一・今井英介・吉田 護</p> <p>14:45 E26 災害リスクファイナンスにおける地域金 融機関の役割 ○大西正密・小林潔司</p> <p>15:00 E27 耐震補強効果の曖昧性が支払意志 額に及ぼす影響の定量評価 ○藤見俊夫・多々納裕一</p> <p>15:15 E28 災害時の“Opportunity-based Learning” と経済成長 ○横松宗太・角元恵理歌・石倉智樹・ 岡田憲夫</p>	<p>15:45 E29 「満点計画」と連携した防災教育プロ グラムの成果と課題（その1） ○矢守克也・飯尾能久・片尾 浩・ 中尾節郎・三浦 勉・米田 格・ 澤田麻沙代・城下英行・水谷健一郎・ 岩堀卓弥</p> <p>16:00 E30 情報通信技術を利用した安全で安心 な地域コミュニティ実現に関する研究 ○畑山満則・渥美公秀・吉川耕司・ 一宮龍彦・小杉幸夫・角本 繁</p> <p>16:15 E31 京都市内にある文化財建造物の地震 火災による焼失リスク ○樋本圭佑・田中喙義</p> <p>16:30 E32 メキシコ盆地における微動観測とその 水平上下スペクトル比による地下構造 モデルの検証 ○松島信一・廣川貴則・長嶋史明・ 新田祐平・川瀬 博</p>	B 会場
		C 会場
		D 会場
		E 会場 23日 午後
休憩		ポ ス タ ー

A 会場	<p>ポスターセッション</p> <p>平成 23 年 2 月 22 日 (火) 9:30~18:30 平成 23 年 2 月 23 日 (水) 9:00~15:00</p> <p>ポスターセッション・コアタイム</p> <p>平成 23 年 2 月 23 日 (水) 12:00~14:00</p>	<p>P07 紀伊半島の地震波速度構造 ○福居大志・澁谷拓郎・中尾節郎・西村和浩・澤田麻沙代・平原和朗</p> <p>P08 九州地方の広域比抵抗構造の推定とその特徴について ○畑 真紀・大志万直人・吉村令慧・田中良和・上嶋 誠・九州地域 Network-MT 研究グループ</p> <p>P09 InSAR 時系列解析を用いたスマラン (インドネシア) における地盤沈下測定 ○有本美加・福島 洋・橋本 学</p> <p>P10 岩盤内部の萌芽的すべり層の特徴と発達過程 ○針山岳大・千木良雅弘</p> <p>P11 台湾南西部の更新-鮮新統泥岩のバッドランドにおける侵食の周期的変化 ○樋口衡平・千木良雅弘</p> <p>P12 京都盆地南部における地下水流動と水質の連続観測 ○栗津進吾・バトルアブドレイム・城戸由能・中北英一</p> <p>P13 Erosion Characteristics of Cohesive Sediment by Non-Cohesive Sediment ○Puji HARSANTO・竹林洋史・藤田正治</p> <p>P14 石徹白ダム流域における土砂流出特性 ○河田暢亮・百嶋 輝・前田修一・鹿野久米豊・吉野秀樹・竹林洋史・藤田正治</p>
B 会場	<p>P01 Assessment of Rainfall Duration and Intensity Effects on the Triggering Mechanism of Slope Instability in Unsaturated and Saturated Zones ○APIP・Kaoru TAKARA・Yosuke YAMASHIKI</p> <p>P02 Assessing the Effect of Land Use Change on the Amazon Basin River Discharge ○Roberto Valmir DA SILVA・Yosuke YAMASHIKI・Kaoru TAKARA</p> <p>P03 A Comparison of Simple Snowmelt Models for the Ane River Basin ○Pedro L. B. CHAFFE・Yosuke YAMASHIKI・Kaoru TAKARA・Maho IWAKI</p> <p>P04 統一水質指標の発展と指標の感度分析 ○寺本智子・山敷庸亮・寶 馨</p>	
C 会場		
D 会場	<p>P05 Characterization of Time-Domain Propagation-Path Effects of Ground Motions for the Short-Period (0.16 to 0.64 sec) Range in the Osaka Basin Area ○Moises CONTRERAS・Tomotaka IWATA</p> <p>P06 レシーバ関数解析手法の高度化とその紀伊半島下のイメージへの適用 ○中川陽一朗・澁谷拓郎・安部裕樹・川方裕則・土井一生</p>	
E 会場		
ポ ス タ ー		

- P15**
山地域におけるフラッシュフラッドの形成機構に関する研究
○小林弘尚・宮田秀介・藤田正治・竹林洋史
- P16**
経路上の混雑及び障害物を考慮した水害避難行動モデル
○花島健吾・大澤 豪・中島正人・野原大督・堀 智晴
- P17**
京大桂キャンパスと比較した檜原中学校の地盤振動特性
○澤田純男・河村雄一・後藤浩之・赤澤隆士
- P18**
静弾性基本解で動弾性問題を解く Multidomain BEM の開発
○後藤浩之・Jacob BIELAK
- P19**
荒砥沢ダム湖上流における巨大移動山塊の地震応答 (その2)
○松波孝治・森井 互・齊藤隆志・福岡 浩・初倉克幹・川辺孝幸・大場武雄
- P20**
北陸地域でこの 35 年に発生した地震
○竹内文朗・澁谷拓郎・平野憲雄・松村一男・大谷文夫・岡本拓夫
- P21**
四半世紀にわたる近畿地方北部の応力空間分布とその時間変化
片尾 浩
- P22**
ALOS/PALSAR で捕らえた世界の大地震 : 2010 年
○橋本 学・福島 洋・高田陽一郎・岡本淳一

- P23**
近畿地方における地殻変動連続観測
○森井 互・細 善信・加納靖之
- P24**
日向灘地殻活動総合観測線における地殻変動連続観測
○寺石真弘・山崎健一・園田保美・小松信太郎・大志万直人
- P25**
黄檗断層の稠密電磁気探査
○吉村令慧・山崎健一・比嘉哲也・大久保綾子・大志万直人
- P26**
1995年兵庫県南部地震前後の宇治市天ヶ瀬における地磁気観測記録の再検討
○山崎健一・坂中伸也
- P27**
地震・火山噴火に伴って発生する大気中の音波・内部重力波に関する数値実験
○松村 充・品川裕之・家森俊彦
- P28**
皆既日食に伴う重力大気音波共鳴震動の総合観測
○家森俊彦・大志万直人・James J. MORI・竹村明洋・井口正人・富澤一郎・神田 径・佐納康治・田中良和・藤 浩明・韓 徳勝・能勢正仁・齋藤昭則・宇津木充・竹田雅彦・山崎健一・小田木洋子・松村 充・平 健登・千葉 亮
- P29**
水没した自動車からの避難の難しさ(その2)
馬場康之・石垣泰輔・○戸田圭一
- P30**
内水氾濫時における大規模地下空間浸水と避難
○石垣泰輔・戸田圭一・尾崎 平・馬場康之・井上知美

A
会場

B
会場

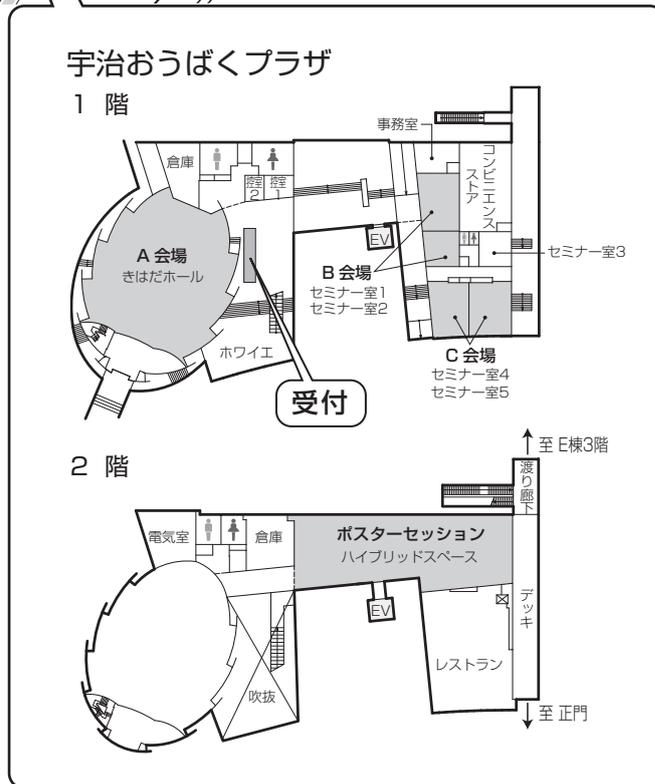
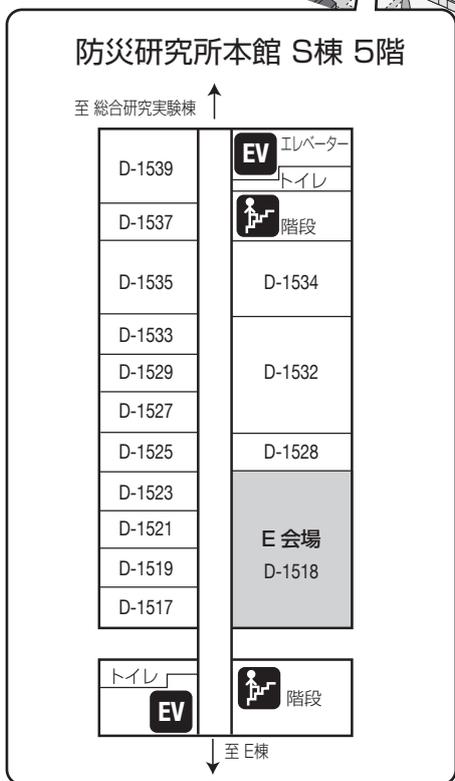
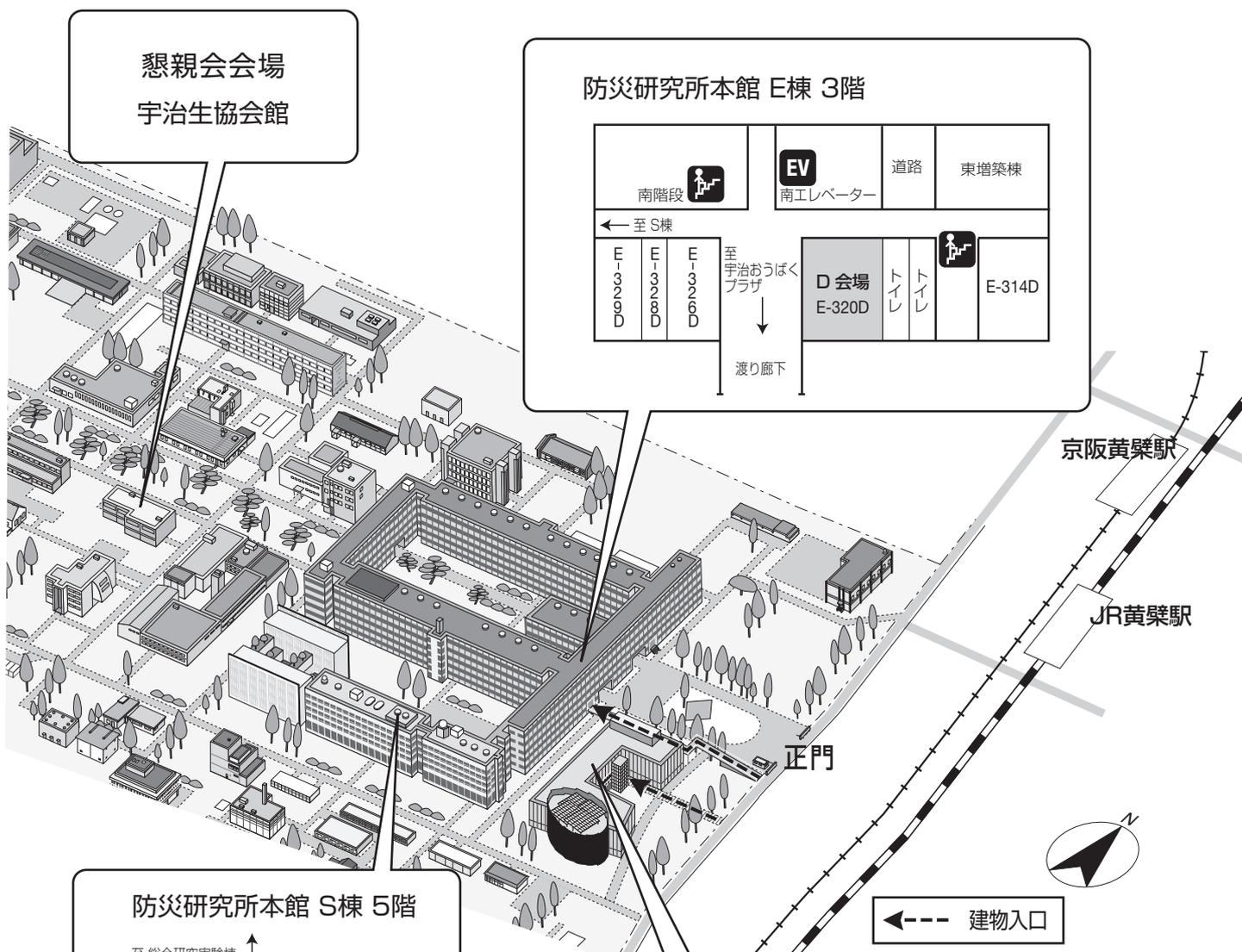
C
会場

D
会場

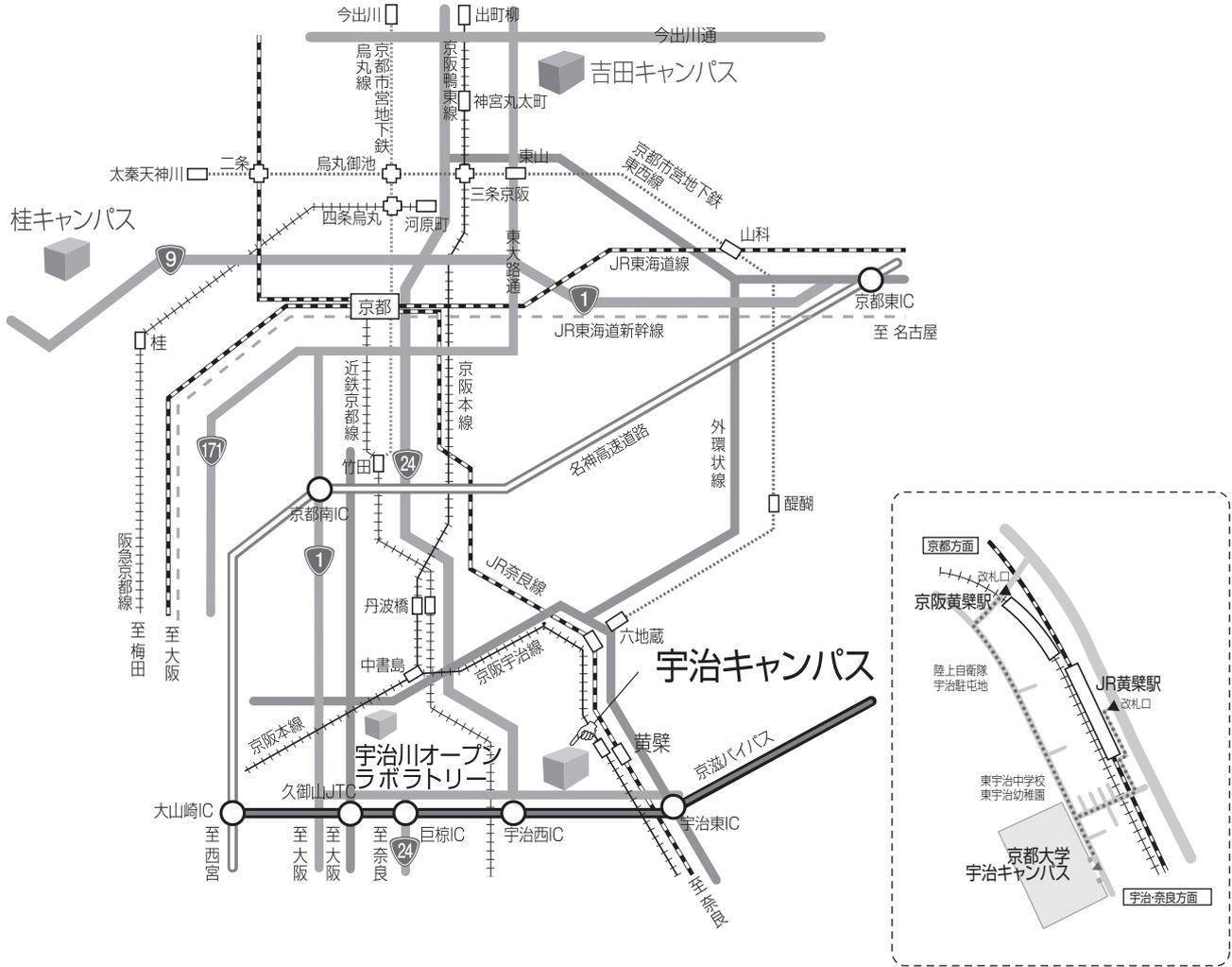
E
会場

ポ
ス
タ
ー

A 会場	<p>P31 都市近郊における大気境界層の観測 － 2010 年夏季における局地循環の特徴－ ○堀口光章・辰己賢一</p>	<p>P38 大潟海岸における平面地形および底質の コアサンプリング調査 ○馬場康之・内山 清</p>
B 会場	<p>P32 日本で発生した極端気象条件による地すべ り発生事例 福岡 浩</p>	<p>P39 火山噴火による融雪泥流の発生機構に関す る基礎的検討 ○堤 大三・藤田正治・宮田秀介・志田正雄・ 長野 快</p>
C 会場	<p>P33 Downscaling of Multi-scale AGCM Precipitation Output using Weather Generator ○ Sunmin KIM・Masataka INOUE・ Kazuaki YOROZU・Yasuto TACHIKAWA・ Eiichi NAKAKITA・Michiharu SHIIBA</p>	<p>P40 桜島火山北東部における地震波反射応答 の変化 ○筒井智樹・為栗 健・井口正人・ 桜島火山反復地震探査グループ</p>
D 会場	<p>P34 気候変動に伴う我が国の集中豪雨の将来 変化に関する基礎的検討 ○中北英一・宮宅敏哉・Kyoungjun KIM・ 木島梨沙子</p>	
E 会場	<p>P35 バンダル水制周辺の河床変動解析に関する 研究 ○ Hajime NAKAGAWA・Hiroshi TERAGUCHI・ Kenji KAWAIKE・Yasuyuki BABA・Hao ZHANG</p>	
E 会場	<p>P36 Characteristics of Grain Size Distribution in Groin Fields and Their Environmental Implications ○ Hao ZHANG・Xinhua ZHANG・ Hajime NAKAGAWA・Weilin XU・Pengzhi LIN・ Hideaki MIZUTANI</p>	
ポ ス タ ー	<p>P37 紀の川岩出井堰が瀬-わんど地形の水質 変化に与える影響調査 ○石塚正秀・岩田圭佑・野口真央・石田裕子・ 武藤裕則・張 浩</p>	



会場へのアクセス



～ 懇親会のご案内 ～

日時：平成23年2月23日（水）18：00～20：00

場所：宇治生協会館（21ページの地図をご参考ください）

[教職員・学生の皆さまへ]

懇親会は完全チケット制で事前申し込みが必要です

[連絡先]

京都大学防災研究所広報出版企画室

0774 (38) 4640

e-mail : dpri-ksk@dpri.kyoto-u.ac.jp

http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp